

八郷広報

発行所 八郷町役場 茨城県新治部八郷町大字柿岡2009 電話(柿岡)4・104・114・149番 印刷所 飯島印刷所 石岡市守木町



各地で敬老会

「片野婦人会では、毎年桜の花のさくころ、年よりを公民館におよびして、ごちそうをしたり、みなさんのゆうぎなどをしてなごさめる敬老会をしています。今年も十五日(日よう)にやることになりました。年をとってだんだん働けなくなるとだれでも、いろいろ心配をしたり、さびしさを感ずるものですから、家のため社会のためにつくしてくださった年よりをなごさめ、よろこばせてやるのは大へんよいことだと思います。

これは、片野小学校家庭に建てられている掲示板に「敬老会」と題して、一年生でも読めるようにふりがなで書かれた文章ですが、こうして町では、毎年七十才をこえる老人をなごさめる意味で、敬老会を公民館主催で婦人会に委託して開催しています。

ことしも、桜の花が咲き出す四月に、片野地区三十名、芦穂地区二百二十六名、林地地区百四十四名、瓦会地区百三十八名が地区ごとに公民館分館に集まって「敬老会」を盛大に行なった。老人たちは、明治、大正、昭和の三代にわたる永い間の苦労も、この日だけは忘れ、町の最近のようすを知ろうと関野町長の話には、特に興味を持ち、現代まで生きながらえたことの喜びをしみじみと味わった。

老人たちは、婦人会の人の接待、各種演芸や映画などに大喜び、ますます健康に長生きしようという手を取りたずさえ、誓いあう風景も各所に見られた。(写真は婦人会の人たちの接待によるご老人たち―林分館で)

有線使用料五月分から百五十円に

町税条例も改正 町議会第三回臨時会で可決

町議会第三回臨時会は、四月三十日午前十時から役場でひらかれ、町税条例の一部改正、有線放送電話に関する条例の一部改正、有線放送電話特別会計追加予算、一般会計追加予算の四議案を原案どおり決定した。

町民税の税率下がる

町税条例の一部改正は、町民税の改正が主なものです。まず、障害者、未成年者、老年者、寡婦は、いままでも十五万円までは課税されないこととされていたが、この改正で十八万円までは非課税の範囲になった。

これは生活扶助費の基準額の引きあげや、今後の経済の動向などを勘案して定められたものです。

▽町民税所得割の税率改正は年所得七十万円以下の所得階層に次のように税率の引き下げが行なわれました。

△改正▽
50万円をこえる―百分の五
15万円以下の金額―百分の二
15万円をこえる―百分の三
40万円をこえる―百分の四
70万円をこえる―百分の五

これは、わが国の所得分布が圧倒的に百万円以下の中小所得者にかたよって、これら中小所得者の税負担が戦前にくらべてかなり重かった。

統合中学―北部も地域協議会結成

さつそく敷地を検討

中学校統合は南部の小幡・小幡の両中が合併して南中学校となり、敷地を決定、整地建築の段となりになっている。一方では、敷地選定を検討している中部地域統合促進協議会と、また地域協議会がつくることが適当と考えられることなどから、七十万円以下の税率引き下げが行なわれたもの。

△現行▽
10万円以下の金額―百分の二
10万円をこえる―百分の三
20万円をこえる―百分の四

この改正は、町民税所得割が前年度課税のためをえをとっていることから、昭和三十一年度から適用されます。▽扶養税額控除が一人につき四百五十円から六百円に引き上げられました。これは、市町村間に扶養税

この協成に出された候補地は、部原牧場山、部原勢至塚、部原八幡倉、瓦谷女体地内の四カ所を、第一候補地に部原牧場山地内をあげ、各地区に持ち帰って、それぞれ検討することになった。

また、中部地域も四月二十日、九日協議会をひらき、石岡一高八郷分校前と研究所東側二カ所の計三カ所の候補地を現地調査するなどして検討をつづけている。

額控除が余りにもはなはだしき差があることから、住民負担の公平を期する意味で「一人につき六百円を控除する」と、標準額が法定されたものとす。

▽町の財源を充実するため、「たばこ消費税」の税率を百分の十二とし(小売価格は変わらぬ)、いままでのようになり、売りあげ額に対する税率でなく、売りあげ本数によって町へ消費税が入るしくみに変わった。

▽電気ガス税は、利用者の負担を軽くするよう百分の十が百分の九に改められた。

五十円となりました。有線放送電話特別会計予算が、使用料五十円の引き上げと増設工事によって加入者が五百戸増加することから百三十八万九千二百円の追加が組まれました。この追加により有線会計の総額は四百六十万円になりました。

▽一般会計の追加予算は、有線放送電話増設工事の負担金(一戸七千円)が予定より加入希望が多いため、その差額が予算措置されたものです。これによる追加は七十万三千円、一般会計の総額は二億一千三百六十三万二千八百円となりました。

昭和37年産米 予備予約目標数量

集荷業者名	目標数量
柿岡農業協同組合	8,690
小幡	10,290
芦穂	10,480
恋瀬	7,385
中田商店	840
瓦会農業協同組合	9,270
園部	8,505
林	10,730
小幡商店	9,525
関	1,335
計	77,050

本年産米の政府売渡は、昨年度に引き続き「事前売渡し申込み制」により実施することになりました。今までは、政令が交付された

てから予約を開始しました。予約の最盛期が農繁期とぶつかって、しばしば事務処理をとおらせ、この制度の特質である概算金の前払い

を遅らせ、その有効な資金の運用をはばんでいました。したがって生産者はこの制度の恩恵をじゅうぶん受けることができませんでした。

それを改めてこの制度の特質を有効適切に生かし、事務処理の短縮と生産者の利便をはかるため、予備予約を実施することになりました。

町では四月六日関係者の参加を求めて、別表のような集荷目標を定め、本制度の持続に協力ください。

三十七年産米の予備予約目標 七万七千五百俵

農協合併や農業構造改善の推進 農業振興部会で

ことしの重点目標を定める

町農業委員会は、四月二十八日第五回農業振興部会を役場で開き、三十七年度の農業振興実施計画の推進など八つの農業振興重点目標を次のとおり設定しました。

農業振興実施計画の推進

農業振興五カ年計画が昨年樹立され、それとともに第一年度実施計画がつくられ、それにとりまわって本年度予算措置が講じられたので、これが事業完全消化のため強力推進にあたること。

農業振興の重点活動事項

農業基本法が制定され、これに関連する法律が逐次制定されつつあるとき、国の農業施策は基本法の示す内容にもとづいて、新しい農業政策が営

(1) 農業白書の作成と農林振興計画の実施推進
(2) 農業労働力調整協議会の運営
(3) 農産物の販売改善に関する指導
(4) 各種農林金融に関する指導
(5) 諸調査事業の指導推進
(6) 農協合併の啓発促進
(7) 農業構造改善事業の啓発促進
(8) 農業講習会の開催など

町遺族会を 青年部を結成

四月十四日午前十時から柿岡会館で「八郷町遺族会青年部結成式」が、県、郡遺族会などより多数の来賓を迎えて行なわれました。

遺族会青年部の役員は次のとおりです。

部長 菊地紀一郎(柿岡)
副部長 加藤 民雄(林)
計 植木みね子(芦穂)
会 田村美奈子(林)

公民館で 銃砲刀剣類の登録審査が行なわれます

町教育委員会では、県教育委員会、茨城県公安委員会と共催で五月十八日午前九時より八郷公民館で、銃砲刀剣類の登録審査を行ないます。

この登録審査は「銃砲刀剣類所持取締法」にもとづいて現在所持しているものや偶然に発見された火なわ銃、刀剣、やり、なぎなたなどで、この所持を許されているものは、このほど行なわれる登録を受けなければなりません。

次のような場合は登録を受けなければなりません。

①許可を受けた者が死亡したとき
②許可を受けた者が銃砲または刀剣類を譲り渡し、あるいは自己の意志にもとづいて所持しないことになったとき
③銃砲や刀剣類をなくしたり盗みとられたり、またはこれが減ってなくなったとき
その他期間が満了したとき

その期間が満了したときとか、そのいずれかに該当するものもこの際登録してください。

今度の登録審査は、八郷町石岡市、千代田村、真壁町、筑波町、岩間町なども含まれて八郷公民館で行なわれるもので、まだ登録していない該当物件がありましたら、事前に各地区ごとに発見届を調整いたしますから、そのときもれなく届出をし、当日持参してください。

もしその後に、登録する場合は、県教育委員会まで持参しなくてはなりません。また登録しないまま所有していると罰則により罰せられることがあります。

登録費用は一件二百円です。

国保の健康家庭二百二十を表彰

町では国民健康保険の振興発展と保健衛生思想の普及をたかめるため、国保事業に対する優良協力者の表彰を毎年実施しています。

本年も四月十八日八郷公民館に、健康家庭二百二十名を招き、国民健康保険事業への協力に感謝するとともに、健康を祝福して関野町長より感謝状と記念品の贈呈が行なわれました。

お祝いとして、「来年もぜひ表彰されるよう、健康にじゅうぶんに留意し、明るい八郷建設にご協力を願いたい」と来賓祝辞があり、和気あいあいのうちに表彰式が終了いたしました。

本年の受賞者は次のとおりです。

ことしの表彰はつぎの基準によって選ばれました。

①昭和三十五年四月一日現在八郷町国民健康保険の被保険者であること。

②国保税を納期内に完納したものの(昭和三十五年度分)

③医療給付をまったく受けなものの(昭和三十五年四月一日～三十六年三月三十一日)

表彰式が終了したあと、懇談会に移り、吉田議長の司会で仲村保険衛生課長ほか係員をまじえ、国保に関する質問など、特に保険医としての被保険者に対するお願いや、診療について細かく説明を吉田先生よりいただき、意義ある一日を過ごしました。

午後は柿岡会館を開放し、議長より健康家庭の



園部小学校新築落成

二月末から工事にとりかかっていた園部小学校の新築は、一棟三百三十平方メートル(普通教室五)が、このほど落成した。

これは東側の校舎一棟が、老朽はなはだしく危険校舎であるため、これをとりわして四百三十万円の工費で、常洋建設株式会社が請負って工事をすすめていたものです。

「こどもの日」の五月五日に落成式を行ない、ペンキのにおいも新しく、明るくモダンな新校舎に入ったことも、私たちはうれしそうに学習にはげんでいる。(写真はほぼ落成のころの園部小学校一室前につまったレンガは花壇)

小幡十三塚に町営の簡易水道が、昨年の十月から工事にとりかかっていた。このほど完成し、二十八戸が給水をはじめた。

この十三塚部落は、筑波運峰に接した標高八十メートルの山間地帯で、地勢上その一帯は岩石層なので、ほとんど家庭が井戸の設備をもっていない。

したがって、飲料水は今日まで沢の流水にたよっているために、平年のかんばつのおかげでも飲料水が不足した。特に排水路の不備による汚染がはなはだしく、飲料に適しているとは認められる期間は一年のうちで五十日程度とされていた。

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

こうして完成した十三塚簡易水道は、一日最大給水量三十三立方メートルが、二百二十人によって一戸一カ月百五十円の使用料で飲料水につか



健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

この老人大学の講師陣は、学長の関野町長、副学長の藤代助役はじめ、町議会議長、公民館長、教育長、中学校長、医師、板敷見純氏ら学識経験者で構成され、一期に二十名の受講生が山本事務所講義をうけて送りだされる。

小幡十三塚に町営の簡易水道が、昨年の十月から工事にとりかかっていた。このほど完成し、二十八戸が給水をはじめた。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

こうして完成した十三塚簡易水道は、一日最大給水量三十三立方メートルが、二百二十人によって一戸一カ月百五十円の使用料で飲料水につか

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

この老人大学の講師陣は、学長の関野町長、副学長の藤代助役はじめ、町議会議長、公民館長、教育長、中学校長、医師、板敷見純氏ら学識経験者で構成され、一期に二十名の受講生が山本事務所講義をうけて送りだされる。

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

町最初の簡易水道完成

小幡十三塚二十八戸に給水

白い羽根の日赤募金

社協と民協再び指定

若がえり証

農繁期のメモ

町社会福祉協議会と民生委員協議会は、昭和三十六年度に引き続き「昭和三十七年度茨城県振興地区」に指定されました。

これは、過去の実績が認められて再び指定となったもので、これによって民生委員と社協全会員による地域ぐるみの民生福祉事業の運営活動をさらに力を入れて行なうことになりました。

これは「百寿会の会員が移り変わる現在の文化社会の状況をよく知って、元気に若返り明るく豊かな生活を送ろう」というネライで、文化、社会経済、政治、衛生、健康、修養、体育、慰安などが課目になつていく。

講義は毎月一日と十五日の二回、午前九時から三時間行なわれ、六カ月(十二回)の受講で全課程を終了したものに、記念品をそえて「若がえり証」が贈られることになっています。

農繁期になると、ネコの手もかりたいほど忙しくなりませんが、作業の能率をあげるために、作業計画を家族の話しあい、作業と家事、炊事と育児などのつりあいをお年寄りの方やお子さんの能力に応じて分担し、能率的に仕事をすすめていきたいと思います。

六月四日から十日までは、「歯の衛生週間」です。昔も今も相変わらず歯の健康は人々には多く、そのほとんどが治療を受けたいというふうです。丈夫な歯は健康のもとです。ムシ歯を早く治して、明るい毎日をおくりましょう。

この老人大学の講師陣は、学長の関野町長、副学長の藤代助役はじめ、町議会議長、公民館長、教育長、中学校長、医師、板敷見純氏ら学識経験者で構成され、一期に二十名の受講生が山本事務所講義をうけて送りだされる。

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

健康の上からも寒心にたえない実状で、部落民も衛生的観念の向上にともなっており、簡易水道の新設を心から要望して、八郷町で最初の簡易水道事業がはじめられたのです。

この工事は、百五十九千三百四十五円の簡易水道特別会計予算でつくられ、その内訳は、町くり入れ金三十五万四千円、地元負担金一戸二万円、二十八戸分五十六万円、国と県の補助金が二十四万五千三百四十五円で行なわれました。

『蚊とハエのいない運動』 環境衛生百十七区に推進

環境をきれいにし、健康で快適な住みよい郷土をつくらうと「蚊とハエのいない生活運動」が、八郷町誕生後まもなく、くりひろげられ「環境衛生モデル地区」をつくってスタートした。

昭和三十年年度には、十にも満たなかったモデル地区が、年々反響をよんで、昭和三十年年度は三十七地区を数えるまでになった。

本年度は、「蚊とハエのいない生活運動」を全地区にかつたところ、四月二十日現在の実施地区は百十七区四千三百八十五戸に普及した。

37年度環境衛生推進地区事業▽環境の整理
春の大掃除をいっせいにこなす。

春の大掃除は地区組織活動の一番大きい行事であるから室内を特に清掃する。

天井のすず、ガラスのホコリを払い、押入れの中や衣類、道具もよく手入れして整理する。

タタミはよく日光にあて、床下のゴミ

環境衛生実施状況

地区	区数	実施区	実施戸数	実施率
岡幡	18	18	838	86
榑	21	20	598	80
小	15	12	383	55
小	15	15	629	91
恋	15	15	497	85
恋	11	11	420	54
恋	28	16	464	81
恋	11	10	464	89
恋	15	15	556	77
小	134	117	4,385	

殺虫剤を二百倍にうすめ、畜舎、たい肥、下水、便所に約三・六リットル位散布する。殺虫剤を二十倍にうすめ、天井及び内部側面に一戸平均二・七リットル位散布する。

▽飲料水の消毒
井戸にサラシ粉を入れる。

▽蚊・ハエの発生源の除去
家畜舎、たい肥舎、便所、ごみ溜のまわりをコンクリート、または簡単なたきぎにす。

▽排水水の流をよくし
特に野積たい肥には麦わらかビニールでおおいをする。

▽寄生虫の検査と駆除
寄生虫の検査は、小指大の便をそのままマッチ箱に入れる名札をつけ、一カ所に集める代表者は集まった便の番号氏名、年齢、性別を名簿に記入する。

駆除は虫の種類によって、薬の量も違ってくるので一カ所に集まって医師立ち合いのうえで飲む。

▽吸血の測定
四月十以上の者を対象に行なう。

「蚊とハエをなくして健康で明るい町を築こう」というスローガンのもとに、地区組織の衛生活動に従事している代表者百十八名が参加して、四月二十一日町環境衛生推進協議会が八郷公民館でひらかれた。

この会も回を重ねること第四回を迎えただけに、参加者は日頃の経験と知識が身につけていて、理解のある効果的な意見を交換、盛大な協議会となった。

この日の協議会は、三十七年度の事業計画や、任期満了による役員改選などを行なった。

決定した新役員は次のとおりです。

- 会長 塚谷 明
- 副会長 藤岡 孝夫
- 監事 土師 茂治
- 仲村 茂美

組合長理事 滑川 好道
副組合長理事 菊部 義延
理事 小松崎作太郎、岡野 幸七

宇海 寺門美、友部三男、谷仲正一郎、鈴木 充雄、皆川一郎、萩原 清、山口清

人骨は東大人類学教室鈴木尚先室のもとに

このように文化財を発見したときは、一応警察に取得品として届け出すことになって

いよいよ田植えのシーズンとなり。この忙がしい農の五月といわれる季節は「火の用心」「ドロボウ用心」が、おろそかになりがちなきが、五月十五日から二十一日までの一週間を「春季防火防犯週」とさだめて、みなさんの協力をお願いすることに

家族全部で農作業に田や畑へ出るなど、家を留守にするときは、一つのカギに頼らないで、二段、三段構えにカギをかけて厳重な戸締まりをし、さらに近所の

あき果の予防
家族全部で農作業に田や畑へ出るなど、家を留守にするときは、一つのカギに頼らないで、二段、三段構えにカギをかけて厳重な戸締まりをし、さらに近所の

農繁期迎え 5月15日から一週間
農繁期を迎える5月15日から一週間、農繁期を迎える5月15日から一週間、農繁期を迎える5月15日から一週間

町の見回してもらおうの良方法です。しかし、昼間雨戸を締めたり、木戸や玄関さきなどにナシン錠を使うことは「留守です」と看板をかけているよ

火災の予防
火災の予防に次のようなことに注意しましょう。

婦人会総会
盛大にひらく

町婦人会の総会は四月三十日榑公民館で会員四百五十名が参加して盛大に行な

東筑波で撮影会
町公民館、全日本写真連盟などの共催で四月十五日「東筑波撮影大会」がひらか

四月の日記より
四月二十日 八郷町末亡人

俳句
小倉 中島 峯鐘
くるま座に花片を酌めば風渡

ぬ人には十分注意しなければなりません。また、ネコの手もかりたいほどの農繁期です。一人の留守番が食事の用意や洗たくなどをすると、そのすきかねらわれやすいので、用心しくなくてはなりません。

火災の予防
火災の予防に次のようなことに注意しましょう。

婦人会総会
盛大にひらく

東筑波で撮影会
町公民館、全日本写真連盟などの共催で四月十五日「東筑波撮影大会」がひらか

四月の日記より
四月二十日 八郷町末亡人

俳句
小倉 中島 峯鐘
くるま座に花片を酌めば風渡

短歌
吉田 次郎選
小倉 植木登久子
空高く雲雀の在所探すなり開

東筑波で撮影会
町公民館、全日本写真連盟などの共催で四月十五日「東筑波撮影大会」がひらか

四月の日記より
四月二十日 八郷町末亡人

光開発をかねて、写真愛好者の技術向上をはかるネライで企画されたもので、講師に風景写真の大家といわれる全日本写真連盟本部理事の西山清先生を迎えて撮影指導が行なわれた。

園部小三名の「火災予防研究発表」 全国第三位に入選

「さる三月、「火災予防コンクール」に作文を送って本県第一位入賞となった園部小学校文芸クラブの真家しげ子、土師敏子、坂川ふみ子さんの三名は、その作品が全国コンクールに第三位を獲得し、四月二十八日午前十時から、東京の日本消防会館ホールで表彰式が行なわれた。

当日は消防庁長官から「日本の火災による損失と火災を起さないための科学的予防の方法を小中学生のみならず、さらに研究してほしい」とのあいさつがあり、岩手県矢作中学校の代表による「始めて見る東京一の謝辞に全員感激して式を閉じた。

そのあと同ホールで「山かげに生きる人々」と火災予防

「私達の町の火災調べから」

園部小学校六年 真家しげ子
土師敏子
坂川ふみ子

私達の住んでいる八郷町は茨城県の中央にあり、八つの旧村が合併して八郷町となりました。筑波山の東側にあいさつがあり、岩手県矢作中学校の代表による「始めて見る東京一の謝辞に全員感激して式を閉じた。

そのあと同ホールで「山かげに生きる人々」と火災予防

佐久で部落公民館を建築

大字佐久区(三十戸、区と天然記念物「佐久の大杉」長大場二郎)では、このほ



—部落みんなの協力で建築された佐久公民館—

公民館を建築した。佐久には、いままでも適当な集会所がなく、子ども会から青年団、婦人会、老人クラブにいたるまで部落全体が、公民館の必要を感じていたらしく、中学校に売った神社の敷地代と預金など部落の金で「公民館を建てよう」という話を持ち上ったとき、異議をとなえるものはだれもなかった。四十五坪、五平方メートルのこの部落公民館は、部落みんなの協力で九月から建築がはじめられ、神社境内から切り出して使った用材をのぞき、公民館の中の設備として部落全戸が集まる机やいすなどを合わせて二十五万円の工費で完成した。こうしてつくられた「民の屋根」は連日利用され、佐久部落の発展に大きな役割を果たすことでしょう。

お友達のようにすを、まじかに見たり聞いたりしていると、絶対に火事をおこしてはいけません。私達の町におこった昨年の火災の状況を調べ、どんな原因があったのか、火災を出さないためには、どんな注意をしたらよいかについて調べてみました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

この火災調べで見ると、三十五年の火災の件数は、十件もあることがわかりました。月別に見ると、一月が四件で一番多く寒い時期の火をたくさん使った時に、多いことがわかりました。燃えてしまった坪数は、四二五・三坪で、三十坪の家なら約十五軒、二十坪の家なら二十軒も灰にしてしまったことになり、七十六万六千円と、ものすごいお金の損失になりました。

戸籍と住民登録

届出を励行して必要な証明を

戸籍と住民登録をともにして登録してあるのが、住民登録です。住民登録とは、住所と居所を区別してあります。居所とは季節出かせぎや入院などのように一時的に移動したところをいい、住所とはその人が生活の本拠をかまえたところをいいます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

こういう夫婦親子の続柄が身分関係なのです。住民登録もこの続柄を基に、戸籍や住民登録についてそのことが言えると思えます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

また結婚すればだれかの夫であり、だれかの妻であるという地位があり、子どもが生まれると、だれかの父であり、だれかの母であるという地位をもちます。

町教育委員会は、このほど社会教育関係の役員を任命または委嘱しました。社会教育委員、体育指導委員、公民館分館役員の主な顔ぶれは次のとおりです。

- ◇社会教育委員
- 吉田 次郎 平 忠
 - 桜井 嘉幸 三輪 馨
 - 馬立 林蔵 三輪 秀男
 - 浅野 篤 国谷 昌夫
 - 稲見 恵一 久米 竜夫
 - 熊岡 清流 水谷 好伸
 - 鈴木 英雄 岡崎 英男
 - 関 英幸 桜井 太郎
 - 友部 米三 田上 嘉雄
 - 田上 善敏 土田 太恵
- ◇体育指導委員
- 佐藤 徳雄 吉田 仁
 - 本園 藤十 菊地 茂雄
 - 大沢 文男 菊地 保
 - 浅野 光一 飯塚 隆雄
 - 関 重雄 関 香椎
- ◇公民館分館役員
- 柿岡分館長 滝田源三郎
 - 小幡分館長 田上 嘉雄
 - 小幡分館長 塚谷 源市
 - 芦穂分館長 鈴木 久治
 - 芦穂分館長 鈴木 桂
 - 芦穂分館長 馬立 林蔵
 - 恋瀬分館長 板敷 晃純
 - 恋瀬分館長 山田 和夫
 - 瓦会分館長 岡野 重雄
 - 瓦会分館長 鈴木 重美
 - 瓦会分館長 鈴木 幸七
 - 林分館長 高野庸之助
 - 林分館長 萩ノ谷文作
 - 小幡分館長 岡崎格之輔
 - 小幡分館長 鈴木 久治
 - 副分館長 鈴木 久治

つゆと家畜

目まぐるしくなると、毎年のことですが、この時期によく家畜の事故が起るものです。このころは忙しさのあまりついでに家畜の世話が十分できず、つゆと家畜の事故が起るものです。このころは忙しさのあまりついでに家畜の世話が十分できず、つゆと家畜の事故が起るものです。

瓦会婦人会

瓦会婦人会はこのほど、県新生活運動推進協議会から表彰された。貴状には「昭和三十六年度第十一回新生活運動優良地区推奨の事業において審査の結果、地区住民協力で明るい豊かな地域づくりに努力され、これを賞します」と記されています。

瓦会婦人会はこのほど、県新生活運動推進協議会から表彰された。貴状には「昭和三十六年度第十一回新生活運動優良地区推奨の事業において審査の結果、地区住民協力で明るい豊かな地域づくりに努力され、これを賞します」と記されています。